

|                  |   |      |  |  |
|------------------|---|------|--|--|
| 学校<br>通信<br>4-10 |  | かけはし | 教育目標<br>○学び合う子<br>○つながり、<br>支え合う子<br>○たかましい子 | 武蔵村山市立<br>第九小学校<br>校長 吉成かおる<br>令和5年1月31日 |
|------------------|---|------|--|--|

## 九小の教育活動のよさ

副校長 日吉 英智

早いもので、暦は2月になろうとしています。今年度の残りの登校日数は、2月の19日と3月の16日（卒業証書授与式に出る学年は17日）となりました。

遅くなりましたが、1月14日（土）のもちつき大会では、多くの御家庭や地域の方々に御協力を賜りまして誠にありがとうございました。九小の子供たちにとって、おいしいつきたてのお餅を食べることができ、楽しい一日となりました。特に、5年生の子供たちにとっては、年間を通した水田学習のまとめとして、蒸した餅米をつくという貴重な経験ができました。九小の「餅つき」の行事は、先に述べたとおり、5年生の水田学習の一部として行われておりますが、餅をつくだけでなく、もちつきの準備や後片付けも5年生が関わります。今年度の5年生もてきぱきと働く姿が見られました。

1月25日（水）に、武蔵村山市立第一中学校校区の研究会があり、本校に第一中学校と第一小学校の先生方が授業参観に来ました。この日の5時間目の授業は、すべての学級で公開を行いました。他校の先生方から、子供たちが一生懸命頑張っている様子がいいですね、あいさつが気持ちよいですね、などお褒めの言葉をいただきました。

子供たちが下校した後、3校の先生方と話し合いをしましたが、その中で、九小の子供たちが行っている「チャイム姿勢」「玄関の傘立ての話」「靴箱の靴のかかとを揃えてしまう」などの子供たちの活動がとても大事だということが話題に上りました。

1月19日（木）には、次年度の運営委員会（児童会）選挙が行われました。九小では、次期の運営委員会に立候補する子を募り、代表者を選ぶ活動を行います。これは、子供たちが自治的な活動を行うことを目的としています。

立候補したのは、今の4年生と5年生です。立候補した子供たちは、どんな学校にしたいのか、そのために自分が何をやっていくのかなどははっきりと自分の考えを述べました。人前で話すのは、なかなか勇気が必要なことですが、堂々と発表しました。

立候補した子供たちはもちろんですが、教室で発表（テレビ放送でした）を見ていた子供たちも立派でした。投票用紙のメモ欄に立候補している人が、どんな学校にしたいと言っているのかをたくさん書き取っていました。そして、その意見を元に誰に投票するのか真剣に考えていました。1・2年生の子供たちも放送されている発表をよく見ていました。選挙権が18歳になった現在、6年生の子供たちは6年後に参政権を得ます。本校では、市役所からお借りした本物の記入台で投票用紙を記入し、本物の投票箱に入れる取り組みをしています。これも貴重な経験です。

3つの活動を紹介しましたが、どれも以前から続く活動が中心です。卒業していった先輩たちが代々、活動してきたことを現在の子供たちが引き継ぎ、今の九小を作り上げているのだなと感じることができた活動でした。これからも大事に継承し、発展させていきます。